

受賞おめでとうございます

令和
6年度

文化賞



小松市文化賞は、昭和39年に創設され、芸術、産業、経済など
幅広く文化の発展に尽くし、活躍された人に贈られます。

問い合わせ

広報秘書課 ☎24・8000



伝統芸能のすばらしさを
次世代へ伝えたい

寺島

浩さん（丸の内町）

こまつ歌舞伎未来塾こまつ邦楽舞踊教室代表
日本こども歌舞伎まつりin小松実行委員

寺島さんは中学校で教壇に立つ傍ら、独自に宝生流の能楽を学び、仕舞、謡と共に囃子の腕も磨き、歌舞伎指導の基礎を築かれました。

市中学校文化連盟が行う中学校古典教室の「勧進帳」立ち上げの時に携わり、その後も持ち前の技量を生かした指導をされて現在に至ります。

また、「歌舞伎のまち小松」の主要事業の一つでもある「日本こども歌舞伎まつりin小松」には、平成11年の第一回から子供歌舞伎「勧進帳」の上演に関わり、中心的な役割を果たされています。

当初は、長唄・囃子方の指導のみでしたが、途中より振付指導も行い、現在は総合的指導者として唯一の存在とされています。

加えて、平成22年には「こまつ歌舞伎未来塾」の指導方となり、長唄・囃子方の後継者育成に尽力されています。

所作・技能だけでなく、礼儀作法や心得も含めた伝統芸能のすばらしさを子供達に伝えるなど、歌舞伎の指導を通して市の文化振興に大きく寄与されています。



地域の風土を反映した
民謡を楽しんでほしい

山本正之さん（戸津町）

民謡山本会会主
日本民謡協会石川・福井県連合委員会副委員長、石川県民謡協会常務理事

昭和45年に職場の先輩の誘いがきっかけで民謡を始められた山本さん。担い手の育成に力を注がれるとともに、地域に眠る民謡の発掘と創作活動にも積極的に携わってこられました。

特に、平成25年の「加賀献木木遣り」復活に尽力され、平成27年の全国植樹祭をはじめ、両国国技館での日本民謡協会全国大会や東本願寺、台湾での文化交流でも披露するなど、小松の民謡の魅力を広く発信されています。

また、令和2年の市制80周年記念で制作に携わった民謡「小松おどり」は、納

涼みよつさ夏祭りをはじめ地域の祭りなどで披露され、市民に親しまれています。

令和6年3月の北陸新幹線金沢敦賀間竣工開業式では「曳山八基祝いの唄」をお披露目し、高い評価を得ました。

民謡の魅力はその地方ごとに違う特色。その特色を理解し楽しむことを教える上で大切にしていると山本さん。「感謝と喜び」を大切に、人生を楽しみながら歌い続けたいと笑顔で語ります。

長きにわたって市の民謡のレベル向上、市民への民謡の普及・振興に大きく寄与されています。